

会社紹介

株式会社東武カードビジネス

代表取締役社長 大垣雅則

(昭和54年政治経済学部卒)

株式会社東武カードビジネスの大垣雅則代表取締役社長に池袋駅西口駅前にある本社でお話を伺いました。

同社は、平成13年に東武百貨店から独立し、東武鉄道グループ80数社を横につなぐ東武ブランドのクレジットカード会社です。現在会員数は80万人、そのうち40万人が池袋東武百貨店や東武東上線の利用者で、特に豊島区内のお客様が多く『校友会の皆様を始め、豊島区のお客様に感謝とお礼を申し上げます。』とお言



葉がありました。

大垣社長は、大学卒業後すぐ東武鉄道に入社し、採用・社員教育等人事関係部門や、鉄道の研修所長、子会社の社長などを歴任後、東武鉄道本社の営業部長、総務部長、平成22年に東武鉄道取締役広報部長を歴任し、平成25年から現在の東武カードビジネスの社長に就任しました。

それらの業務経験の過程では、平成19年、50歳の時に株式会社パスモの代表取締役社長に就任し、首都圏での電子マネー「パスモ」デビューを担当しました。さらに55歳の時には、東武鉄道取締役に就任「東京スカイツリー」開業プロジェクトに広報担当として携わりました。

また、管理職・プロ経営者として長年研鑽を重ねるかわら、人材育成にひとときを注力しており、その大垣社長の原点は、実は明治大学の学生時代にさかのぼります。

政経学部では産業心理学のゼミナールに所属し、企業調査を通して、リーダーシップについて研究、恩師の中野渡信行先生からいただいた

『人はどのような時に、喜んで自分から働くのかを考えなさい』という問い、長年実践者として大切に探求し続けてきたとのこと。

また、体同連の剛柔流空手道部の主将として、当時60名近い部員を率



いて、毎週4日間駿河台11号館の屋上を練習場に、厳しい練習を行うとともに、裸足で駿河台界隈をランニングするなど、『前へ』の明治魂をしっかりと体感、文武両道の4年間を過ごされました。

東武カードビジネスの社長就任後は、同社のクレジット取扱い高は八

〇〇億円台から一千一〇〇億円台に急拡大するなど、順調に業績を伸ばしており、従来の青い東武カードとともにPASMO機能が付与された一体型の白いカード「東京スカイツリー®東武カードPASMO」の普及促進により、より一層の利便性の向上に努めています。

大垣社長は、同社の『社長兼教育担当』と言われるくらい、熱心に社員教育に取り組んでおり、新入社員から幹部教育まで社長が自ら講師やトレーナーを務め、社外からも社員教育の講師を手伝ってほしいとの要請をいただくまでになっている。また全社員を対象に週一回は3名単位でランチをするなど、風通しの良い職場環境づくりに取り組んでいます。それらの取り組みにより、社員の離職率は極端に低下してきているとのこと。

60歳を過ぎた現在は、現役社長の職責を果たす一方、部下を幸せにするリーダーを育てることが天職と考え、実践者だからわかる切り口で、ビジネスパースンの育成やコーチングに熱心に取り組んでいます。

取材：副支部長 猪瀬典夫

明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部 NEWS

2018年 第59号

校友会豊島区地域支部平成30年度
暑氣払い開催!

豊島区地域支部の三大イベントの一つである恒例の暑氣払いが、平成30年8月4日(土) 18時から池袋駅東口にあります第一イン池袋2階大宴会場「ピノ」で開催されました。

当日は、例年になく猛暑で最高気温34度という大変暑い日で、夕方も一向に暑さも解消されない中での開催でしたが、初参加者5名を含め70名近い方々の参加となりました。

司会進行は、夏に相応しい和服姿の長尾睦子副支部長と、同じく若衆姿の中西大輔常任幹事で、厚さを吹き飛ばす爽やかな雰囲気の中で進められました。



先ず、白砂正人支部長から、7月2日に急逝されました会計幹事の要職を長年務めて頂き、豊島区地域支部活動に多大な貢献をされました。亡き島倉仁志校友の報告が改めて



行われ、そして全員で黙禱を捧げました。

続いて、三浦昭生北部支部支部長の乾杯の音頭で、暑氣払いがスタートしました。暑氣払いは、毎年

特別なイベント等を行わず、参加者全員が「ピノ」の特別料理に舌鼓を打ちながら参加者同士がゆっくり交流して頂く形式にしております。

なお、今回もBGMとして、我が明治大学が誇るマンドリン倶楽部のCDを使用させて頂きました。

特別ゲストとして、昨年はご公務のため欠席となりました豊島区高野之夫区長が、今回は暑氣払いのためにスケジュールをご調整頂いて参加頂き、ご挨拶を頂戴致しました。



また、もうすっかりお馴染みとなりました初参加者からのご挨拶を行って頂きました。今回も多士済々で、金融機関支店長、地元ケーブルテレビ役員、税理士等の方々などがご参加頂きました。

そして、豊島区地域支部の関連活動告知として、マンドリン倶楽部OBの本間豊明常任幹事からマンドリン倶楽部OB会「メモリアルオーケストラ」が10月13日(土)に滝野川会館で開催され

る定期演奏会についてのご案内を行いました。

また、7月に西日本豪雨で被災された方々への募金活動を急遽会場で行い、二四〇〇〇円の浄財を頂きました。急なお願いにも拘らず、たくさんのご寄付頂き、誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

楽しい時間もあっという間に終わり、待ちに待った校歌斉唱を応援団出身の橋爪孝利常任幹事のリードにより、参加者全員で円陣を組み大合唱となりました。

閉会の挨拶は、板橋光一幹事長から行われ、引き続き締めは、恒例となりました兼村仁常任幹事の三本締めで二〇一八年暑氣払いは大盛況のうちにお開きとなりました。

◆文責：幹事長板橋光一(昭和47年法学部卒)



◎初めてご参加いただいた皆さん。東武カードビジネスの大垣さん、日本政策公庫の伊藤さん、としまテレビの成井さん、日本生命の志田さん、アセットフロンティアの鳥居さん

島倉仁志さんを偲んで

明治大学校友会豊島区地域支部会計幹事の島倉仁志さんが、7月2日急逝されました。

島倉仁志さんは、昭和40年9月22日富山県富山市に生まれ、富山市立堀川小学校・堀川中学校、富山県立富山商業高等学校を卒業、

昭和59年に三菱銀行に入行し、神奈川県内や東京都内の支店や事務センターなどに勤務、平成13年に東京海上日動あんしん生命保険(株)に転職、平成15年に明治大学商学部に入學、平成19年に明治大学を卒業し、平成28年からはファイナンシャルライアンス(株)で勤務されてきました。

誰からも親しまれ、愛される銀行マン、生命保険マンとして活躍されるとともに、明治大学校友会豊島区地域支部の会計幹事として、会計事務を取り仕切るとともに、会報に掲載する校友への取材や原稿作成を主体的に担当いただきました。特に、島村高彦監査委員とともに、若手会



員向けに『来たれ、明治の若人たち』と呼びかけた葉書での会員勧誘は、会員の増強に大きく貢献され、現在の豊島区地域支部の礎を築いていただきました。

また、明治大学野球部を愛する会の会長として、会の運営



をまとめ、『勝つても、負けても愛する会』を合言葉に、先頭に立って野球部を応援し続けていました。さらに、スポーツ愛、母校愛により、明治大学出身のジャーナラーの応援

にも積極的に取り組んでいました。今後もその活躍が期待されていましたが、5月頃から体調不良となり、6月14日に入院し、富山からお母さまの到着を待っていたかのように、すい臓がんで7月2日午後10時56分に逝去されました。7月6日に家族葬が行われましたが、生前の島倉仁志さんのご意向に

より、校友会と野球部を愛する会のメンバーが中心となり、『島倉仁志さんを偲ぶ会』を8月18日にメトロポリタンプラザビル12階ステーションコンファレンス池袋で開催し、一八〇名近い方にご参加いただきました。



校友会一同、謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、島倉仁志さんの功績を称え追悼とさせていただきます。

【副支部長猪瀬典夫】



◆ミレイ会通信

豊島区地域支部では、毎年3回のイベントを開催し、校友の親睦を図ります。それは、2月の新春の会(地球飯店)、8月の暑気払い(第一イン池袋)、11月の総会(としま産業振興プラザ)で、校友が集い、盛大に催されています。

年配の校友からは、懐かしい昔の仲間会い、話をしたいので、懇親会開催の強い要望がありました。このため、概ね60歳以上のシニアを対象にミレイ会を発足し、主として、イベントの無い月の第2



火曜日に懇親会を開催することにし、今年の10月で、1年を迎えます。

最近では、第7回のミレイ会は、9月11日

午後6時にロサ会館2階の「さど」に8名が、集まり、2時間、先輩方の昭和の懐かしい話で盛り上がりました。ざつくばらんな雰囲気懇親会です。で、気楽にお出で下さい。なお、次回は、平成30年12月11日午後6時から巣鴨の「たけやま」で開催予定です。

※担当幹事 後藤孝男

明治魂を伝える

税理士 高橋 亨

大地総合会計事務所 代表

平成5年商学部卒

私が明治大学に入学したのはちょうど平成が始まる年で平成元年です。当時は日本経済も好調でバブルと言われていたときです。ちょっと前の就職氷河期のときの学生は、大学入学と同時に語学や資格取得のために真面目に勉強したようですが、それに比べると私が大学生だった頃は、大学生活は人生のゴールデンウィークといわれていて、周りを見渡しても真面目に勉強している人はあまりいなかったような気がします。



は明治大学公認サークルという位置づけでした。毎週真面目に練習して色々な大会にも参加していて、結構

体育会系的な雰囲気なサークルでした。サークル活動はそれなりに楽しかったのですが、競技自体はあまり面白いとは思えず、三年になってゼミが始まったら自然と足が遠のいてしまいました。

時間はありましたが、お金のなかった私の大学生活は特にバブルらしいことは何もなく、振り返れば、友達と麻雀やゲーム、あとはアルバイトばかりしていた様な気がします。それでも一、二年の時はサークル、三、四年の時はゼミに所属し、それなりに学生らしい生活を送っていましたが、今思うともっと真面目に勉強して留学の一つくらいしておけば良かったなあと思います。

サークルは、フリスビーを使ってやるア

ルテミットという競技を主にやっていて、現在は体同連になったようですが、当時

ゼミは、もともと税理士という資格に興味があったこともあり、会計学のゼミ

に入りましたが、税理士を目指して本格的に勉強することもなく、三年の終わりに特に何の準備もせずに就職活動を始めました。一つ上の先輩方からは有名な

大企業から複数の内定をもらえるのは当たり前で、その中からどの会社か自分の人生にとって最も良い会社なのかを見極めるのが重要だ』みたいなことを聞いていたのですが、いざ自分が就職活動を始めると聞いていたのとは全く違い、沢山受けても全然内定がもらえず自分に何か致命的な欠陥があるのかと悩んだりもしましたが、友人に聞いてみると皆同じ

状況のようでした。そうバブルは前年にはじめてしまっていたのです。このときの就職活動の大変さから『この先の長い人生で何か資格のようなものでも持っていないと大変だ』と痛感して、働きながら勉強できる税理士を目指して勉強を始めることにしました。

その後、会計事務所や一般企業に勤務し、上場企業の経理や香港駐在なども経験して、試験勉強を中断していた時期もありましたが、紆余曲折あり、税理士試験の受験勉強を再開して試験に合格した後、2012年9月から顧問先ゼロで葛飾区の金町に税理士事務所を開業しました。



香港駐在時代

主な業務内容は中小企業の税務顧問や相続対策で、中小企業の経営者に対しては税務にとどまらず真のパートナーとしてともに発展できるように心がけて業務を行っています。二〇一六年にJR大塚駅南口から徒歩5分くらいの所にある今の事務所に移転し現在に至っています。

御嶽神社七夕祭マンドリン倶楽部メモリアルオーケストラ報告



去る7月7日、池袋御嶽神社にて行われた恒例「七夕祭」にて今年もマンドリン倶楽部OBメモリアルオーケストラにご参加頂きました。

明治大学校歌に始まり、若い広場「半分、青い」といった最新の曲から学生時代「川の流れのように」など様々な曲をご披露頂きました。また、当日は校友会からも多数の方にお立ち寄り頂きました事、心より感謝申し上げます。(中西大輔 平成11年文学部卒)



◆豊島地域支部

総会&懇親会のお知らせ

日時 平成30年11月10日

総会 18時から

場所 としま産業振興プラザ

(KEE-BIZ)西池袋2ノ37ノ4

懇親会費 五〇〇〇円